

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

(事務局)

開会宣言及び課長挨拶

「和泉市助成審査委員会規則」による 委員長の選出

委員長により議事進行

「和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則」に基づき傍聴者の入室を認めていたが、傍聴者なし

本日の会議の議事録公表については、委員名簿は氏名を公表、本会議の個々の発言の要旨については、単に委員と表記し要点記録とする旨及び最終の議事録作成については、委員長に一任することを全委員了承。

(事務局)

《審査基準表等について説明》

応募団体数(6団体)及び進行方法(1団体、説明7分/質疑13分/合計20分、入れ替え2分)審査基準について説明。

【各団体より説明及び委員質疑】

==いずみヒューマンネット==

事業名：『男性のための土鍋とフライパンを使った自己完結型料理教室』

男性の日常生活の家事力をアップするということで料理を通して家事力をアップして女性を助ける。石蔵文信さん提唱の土鍋を使った一人鍋、5年間で16回の実績あります。コロナのために3年間やっていなかったもので開催を希望する声が多く、今年から復活したいということで企画いたしました。我々の企画は買い物からみんなで行って料理をしてみんなで作って食べて、後でわきあいあいとおしゃべりするという完結型の料理教室を開催したいということです。みなさんで買物に行きますが、みなさんどれがどんな値段をしてるか男性はあまり知りませんそれも含めて完結型料理教室にしています。一人鍋ということで簡単に作れるようにしています。料理の手始めということで協力したいと思っています。内容は、ロールキャベツ・煮込みハンバーグ・白菜と豚バラ・麻婆茄子となっています。それにもう一品フライパンで簡単に作れるような料理をプラスしていこうと思っています。4回は料理教室で、あとの4回を我々でレシピの研修会ということです。講師とか呼ばないのので我々で研究して作って、それを料理教室に来られた方と皆さんと共同でやるということです。今回の内容は

石蔵先生が出した「男のええ加減料理」という本があります。これは土鍋で作って土鍋で食べてというような簡単なレシピをまとめた本ですが、その中からピックアップして一番評判が良かったものを4つ選びました。最終的には奥さんをランチから解放してあげたいということで、自分で作れますから奥さんはどこかで豪華なランチでもというのが最終目標です。

以上です。

(委員)

今までやってこられて、例えば今まで料理しなかった人が料理するようになったとか、そういうのはありますか？

(いずみヒューマンネット)

それはよくあります。奥さんから良かったよと。ちょっとやってくれるようになりましたとか。リピーターも増えています。

(委員)

4回されるということですが、計画書をみると8回あります。1回に二つ作るということですか？

(いずみヒューマンネット)

ひとつの料理を1回、2回と書いていますが、1回は我々だけで研修してそれで本番でいっしょにやる。

本番は4回、研修は4回ということで合計8回ということです。

(委員)

1回目はグループでいうことですか？

(いずみヒューマンネット)

我々だけでうまいこといくかどうかやってみるということです。

(委員)

買物は参加者みんなで行って戻って料理をするということですね？

(いずみヒューマンネット)

はい

(委員)

主旨としては妻をランチから解放するということですね？

(いずみヒューマンネット)

別にランチでなくていいですけど、料理に関して無関心ではいけないので、こういうことをやることで奥さんがちょっとでも手抜きも出来るとか今日はあなたやってねと言って、それを受けられるようにする。

(委員)

一人鍋とおっしゃったのでこのレシピっていうのは一人のためですか。

(いずみヒューマンネット)

土鍋で作るので一人鍋になりますが、フライパンで二人前作れます。

(委員)

大きいお鍋で材料2倍にすればいいということですね。

(いずみヒューマンネット)

石蔵先生は阪大病院の先生ですけど、夫源病（夫が原因の病気）つまり奥さん精神的にもものすごく参ってるのは定年になった人の昼ごはんを準備するのが本当に大変でノイローゼになってしまう。我々も共感しまして先生に弟子入りしましてみんなに広げようということで、夫源病の一番の要因はランチだそうです。

(委員)

そのあたりの話も含んで参加者の方にお話されるということですね。

(いずみヒューマンネット)

味は二の次です。

(委員)

参加者募集の方法について教えてください。

(いずみヒューマンネット)

一番の主体はチラシですね。カラーで作成し、図書館や地域の主なところに置いていただきます。ロコミでも勧誘します。いずみヒューマンネットのみんながそれぞれグループの或いは地域の友達等に声をかけていきます。

(委員)

対象年齢は、今のお話ですと基本的は定年退職された方ですか？

(いずみヒューマンネット)

そうですね。若い方にも来て頂きたいのですが。

(委員)

リピーターが多いとおっしゃっていましたが内容としては年齢層は高い方ということでしょうか。

(いずみヒューマンネット)

はい、そうです。

(委員)

意見ですけど、夫源病のことをおっしゃっていましたが、おそらく今の方はランチも作らないと思うので、一人鍋ってというのは、自己完結ですよ。買い物行って作って食べてってというのは、それもあたり前の話なので今時男の人もやれて当然な話なので自己完結型っていうのも、今まで全然したことがないっていう人向けなので、なかなか高齢者以外は誘われないだろうなって思う。しかも自己完結の一人鍋っていわれると一人暮らしっていうか一人の方向け。できれば、そこで習ったことを家に持ち帰る、家庭で連れ合いや子どもたちに対してお父さんが作ってあげるといのはどうでしょうか。自己完結・一人鍋の次のステップを考えられたらどうかと思います。

(いずみヒューマンネット)

ありがとうございます。

(委員)

予算のその他で保険代というのが、10人×4回というのが最初に事業者側が練習のためにだと思いますが、次30人というのが15人の間違いではないのですか。募集は15人が目安ではないのですか。

(いずみヒューマンネット)

ヒューマンネットの人数も含まれます。

(委員)

ヒューマンネット15人 参加者15人ということですね。わかりました。

(委員)

レシピコピー代というのは、石蔵先生の本のコピー代ということですか？

(いずみヒューマンネット)

そのまま作ると高くなるので、自分なりに考えて作るということです。

(委員)

わかりました。あと、女性を助けるとか、難しい料理では男性がいやになるその言葉から男性イコール料理が出来ない、家の中で女性が料理をするのが当たり前というのが気になるところです。今そういう時代ではなくなってきたところを含めて学んでいただけたらと思います。

(委員)

土鍋は、ここの施設に人数分揃っているのですか。

(いずみヒューマンネット)

土鍋は個人で持参していただきます。

(委員)

わかりました。ありがとうございます。

== (ことわ会) ==

事業名：『お琴三昧体験会（男女共同参画による）』

昨年度、街角に琴音があふれる元気な街づくりをサブタイトルとしてお琴三昧体験会を企画しました。

今年はさらに男女共同参画によるという私たちに必要な問題点が明確になってきたように思いサブタイトルを男女共同参画による琴音が響く和泉市町づくりということで同じお琴三昧体験会を企画しました。

内容は昨年と同じく経験者のみならず初心者も対象として月1回8月から来年3月の8回、定員15名で参加者を募集します。開催曜日を定めず保育付として性別・就業さらに育児など様々な状況の中でも参加出来るようにします。1日4時間の集中的なお琴の指導・演奏で皆様、開催当日に演奏をパートに分けた合奏演奏を楽しんでいただいています。日本の伝統音楽の長い歴史の中で男性のみに指導資格が許されていた時期がありますが、今は女性も活躍できるようになりこの美しい琴音をみんなで楽しみたいと思っています。

この体験会での演奏のきっかけ、経験や合奏演奏の楽しさから伝統音楽を身近に感じていただき、いっしょに演奏した初めて出会った地域の老若男女の連帯感を契機として街角に琴音が響く町づくりが出来るような場を広げたいと思っています。また国際交流の場にも、お琴演奏や体験会を広めたいと思っています。

来年3月にはこれまでの参加者や街角体験会の参加者が集って琴音を楽しむお琴三昧体験会ミニパーティを開催したいと思っています。私たちは堺市でお琴を月に2回小学校で演奏させてもらって子どもたちに広める活動をしております。これを和泉市でも広げていきたいと思っています。私たちが教えてくださった成人琴教室の先生方はこれまで小学校にも行ってご指導されてお琴を普及したいという思いでおられました、なかなか子どもたちに浸透しにくく、だんだん先細りするような現状じゃないかと思っています。特に男女共同参画ということを意識しておりますのは、女の方は割りにどこにでも出ていけるけれど、男の方って出にくいと思うし、ましてお琴というと余計出にくいと思うんですけど、去年は実際に男の方も来てくださっていましたし、積極的にみんなを率いて頑張ってくれていました。そういうふうな男の方の場所作りを提供したいと思っています。

男女ともにいきいきとした生活がおくれるような和泉市の町づくりに貢献したいと思っています。ぜひ小学校とかに普及させ、いろんなところでお琴の演奏があったら気楽に覗けるような環境を作っていきたいと思えますし、また素晴らしい演奏会もいろいろあるので、お琴の奥深さも伝えていけたらと思います。

(委員)

去年の参加された方の男女比、人数はどうなっていますか？

(ことわ会)

男性が1割くらいです。15名中2名です。

(委員)

わかりました。予算のところですが、発表会の会場費 翔泉亭 とありますが、どちらのことですか？

(ことわ会)

和泉シティプラザの4階です。

(委員)

わかりました。ありがとうございます。

(委員)

去年の参加者の年齢は？

(ことわ会)

若い人で40代、高齢者の方は80歳を超えています。ことわ会のメンバーも平均すると80歳に近いです。

(委員)

こどもにも琴音を知ってほしいと、琴を弾けるこどもたちを増やしたいという趣旨かと思うんですが、それと男女共同参画っていうのがどう結びつくのがもう少し説明してほしい。

(ことわ会)

琴音が響く和泉市町づくりには、すぐにはつながらないけれど、親しめるこどもがいっぱいいることで、私たちが文化庁の伝統文化親子教室というところで琴をしています。高齢者の方からこどもまで結びついて欲しいと思います。今、こどもたちについては堺市で活動しています。将来的に和泉市の方に私たちはこどもから大人までというふうにつなげたいと思っています。その中で子どもたちはお琴ってあまり体験したことがなくて、女の子がするものだろうとか思われているので小さいころからお琴を体験することで、見る目が変わってきてくれるんじゃないかなと思っています。だから男女ということについては、楽器について区別なく取り組んで欲しい。これは男とか女ではなくて好きな楽器をとというふうなことで、小学校から中学校とつながっていったらいいなと思っています。

(委員)

7回練習を練習されて、8回目は練習もするけれど、参加者の集いという形で計画されてるということですか9回ではないのですか。

(ことわ会)

月 1 回で最後の体験会が参加者の集いですが、去年は実際には発表会するからということで、任意に集まる機会になってしまって、2 回ほど多くみんなで集まって練習しました。

(委員)

最後の発表会はサブタイトルで男女共同参画によるとなっていますが、何か男女共同参画に関する企画とか、こういうことをして最後のミニパーティにしていきたいものを教えていただけますか。

(ことわ会)

プログラムに書いてるようにグループ作って練習しますが、そのときに外部の尺八の演奏者に加わってもらって、見学の方も来ていただくようにして、パーティというよりも私たちの活動が、敷居が高く感じるのではなく、どこからでも入ってもらえるような感じで開きたいと思っております。男性の方で民謡を歌われる方とか尺八を吹かれる方とかも交えてお琴の演奏の中でいっしょに楽しんでもらえたらというようなパーティをと考えております。そのためには、琴弾かなくても琴の音色にあわせて歌うとかいうことで練習のときから参加してくださるんじゃないかなと思っております。

(委員)

男女共同参画が課題だということですが男性のための居場所にもなれば良いというお話でしたけど今回、男性の方を参加者として呼び込むための何か工夫はありますか？

(ことわ会)

毎月の琴演奏の曲を決めていますが、それにはいっしょに歌える歌とかをいれて、荒城の月等を歌っていただいたり、黒田節を歌っていただいたり、そんなことで参加してもらうこともありかなと思っております。また琴を弾かなくても、それに合わせて尺八演奏できる人がいたら、その人もお声かけて集めていったら男女っていう比率も高くなってくのではないかと思います。

(委員)

報償費のところ保育料つけてられています。実際お子様の保育が必要な方等、参加されているのでしょうか。去年は保育が必要な方はどのくらいいらしたのでしょうか。

(ことわ会)

去年は、保育していただけるじゃんけんぽんの方に待機してもらったけれど、結局は使わなくてすみません。

(委員)

去年は保育の利用者がなかったのですね。保育付きで行うのはいいことだと思いますが、経費の中で、今回も保育料¥64,000 を見込んでおられるけれども、前回と同じだったら使わずじまいになってしまう、そんな気が

します。せっかくいい案なので、お子さん連れでも来れるというような働きかけ等を考えていただけたらと思います。

(委員)

譜面が1冊1,000円で8冊と書いてあるんですが、参加者は15名ですよ、8冊だけですか？

(ことわ会)

教材として買うのは1回に1冊用意しますので。こういうふうな譜面のコピーについては、学習会で使う場合は問わないという結果が出ていたので、今回は教材として使う分を1冊購入してそれをコピーして使ってください。この分は私たちの勉強のための本で、どの曲が皆さんにいいか選ぶための資料と考えております。

(委員)

はい、わかりました。

(委員)

支出の中の報償費の搬入搬出謝金というのは何でしょうか、内訳を教えてください。

(ことわ会)

私たち普段の練習は和泉市コミュニティセンターでやっております。そこの和室に琴も常備されてるので、そこを使うんですけど、持ち出すことは出来ません。私たちが集めた琴を4階に上げたりセッティングしたりするのを手伝ってもらう人の費用で1時間あたり1,000円ということで2人分を見込んでいます。搬入搬出のときです。

(委員)

1時間1,000円で2時間かかる。それが2回ということですか。

(ことわ会)

はい、実際にはこれ以上の時間がかかっています。

== 〈阿部浩二ギターウクレレ教室〉 ==

事業名：『家族バンドで家族円満 お友達バンドも。性差別をなくそう！』

音楽を通じて性差別をなくしていく方向で体験をするという内容になっています。場所はシティプラザのスタジオを想定して、数グループを招待してバンドや合奏で、グループで音楽をやってみようと考えています。練習は、3回練習、発表会1回という構成です。その間に一つオンライン講座でファザーリングジャパンで男女参画等の講師をつとめておられる橋さんをお呼びして男女や家庭のなやみを共有しながら音楽を通じてどのように変わっていったか ディスカッションしつつ、間にそういう回をはさめたらと思っています。最後

に10月1日に発表会をやりまして、そちらでいっしょに演奏出来ればと思っています。よろしくお願いいたします。

私たちは音楽教室をメインに活動しています、個人を教えている場合が多いのですが、家族バンドをやることになって、あるお母さんが双子の子どもがいて、おかあさんが体育会系の人でバレーをやっているバレーをやっちゃうと鬼のようにきびしくやっちゃうんで音楽だったら共に楽しめるんじゃないかという生徒さんがいて、そうすると音楽を通じて家族仲良くなっていい感じの音楽を作られていて、発表会でそれを見た別の子どもたちがこういう形があるんだということで、その子がお母さんと一緒にやるみたいなことで、お父さんなんかも参加する局面なんかもありまして、家族仲良くなって。音楽っていうのは、元々男性と女性に区別なく平等にかたれるような場なので、そういったものがより広く個人や家族の中で平等に楽しめるように出来たらいいんじゃないかなと思って応募しました。私は元々ブラジル音楽をメインにやってきたのでポルトガル語がしゃべれたりするのでブラジルで著名なアーティストがいてその人がやっているワークショップがあるんですが、その人が日本に来た時に、4回か5回やったのですが、その人は、即興的に作曲をして、いろんな楽器がうまい人下手な人関係なくひとつの楽曲を即興的に作っていくというワークショップをやっている。それを日本で、プロのミュージシャンもたくさん呼んだんですけど、全く経験のない子どもたちもできるという、そういった経験も踏まえて、誰かが上手いからとか下手だからとかで、ランク分けするという発想は僕はなくて、初心者は初心者なりに、難しいことはそれが出来る人にやらせるという中で一つの音楽という場の中で、男女関係なく、音楽の持っている平等な利用っていうものをここ和泉市の地でいろんな人を交えて出来たらいいかなと思っています。

(委員)

第一回の募集の時点ですでにグループになっている人たちを募集する感じですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

グループで募集してあるいは、単独で募集してグループに入る等々は両方受付が出来ると思います。

(委員)

私もサンバを踊っていたのでブラジルの話もおもしろいのですが、せっかくそういうポリシーがあるのならば一人参加しつつ、そこでグループを作るとかグループじゃなくても参加出来るとか、一回目はもっとフレキシブルな感じで募集をされた方が、おもしろいんじゃないかなと。もうすでに出来上がっている家族とかグループがあったら単なる練習の場を与えるだけになってしまうので、そこを解体して違う人たちとグループ作れるみたいな方が、よりおもしろいかなと思いました。もうひとつ、4回目のオンライン講座っていうのが、唐突な感じがする。ファザーリングジャパンの橋さんの講座と音楽のグループが、どういった関係があるのか教えてください。

さい。

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

私がブラジルに一年住んでいまして橋さんはバックパッカーで回られてた方で、ブラジルという音楽が平等でブラジルという国が非常におおらかで多様性がある。そして差別がない。少ない。そういうのを共有していただいている方なので、まあちょっと唐突ではあるんですが、そういった考え方も共感するうえで、悩み相談ですとか男女の役割におけるなやみ相談ですとか、そういうのをはさむとおもしろいのかなと思ったんです。一応ブラジルつながりというところがあります。

(委員)

募集するときにこの講座の位置づけはなるのですか？ここに夫が家事をしてくれない・妻が怖いと書いてあります。これを前面に出すんですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

ざっくりとした書き方なんですが、今アイデアいただきました通り個人募集の方が面白いんじゃないかということを変えるとしますとそこまで家族の悩みにこだわらなくてもいいのかなというところで参加者の方が感じている性差別等の悩み相談の会というようなキャッチコピーになるかなと。ちょっと今これは家族中心になってますけれど。

(委員)

バンドで云々というところへ突然、妻怖いというような悩み相談をもってくるのが違和感があつて。じゃこのオンライン講座がありますよ参加して下さいっていう時にどんなふうにアピールするのかなと思った次第です。

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

職場で女性が下を求められるとかグループにおける男女の差別・悩みっていうのがあろうかと思いますが、そういうものが音楽を通じて解消されるのではないかっていう方向で最初考えました。音楽をしていてこれが突然来るよりは、きっかけは、音楽興味ない方でも誰もがかわるような悩みをきっかけに音楽をやってみるといような順番かなと思います。音楽をやりませんかということよりは皆さんいろいろ悩み抱えてますよねというところから音楽を通じて解消していこうという流れです。まず動機があつてそれを音楽を通じて解消していくと思います。知らない人同士でも男性と女性、LGBTの方もいて、音楽をすとなったら、男性だからとか年齢がどうか関係なくなるのです。音楽、コロナが終わった後でも人間平等なんだすごく一体楽しくなれることが出来る、人生に生かされていく、そういう体験になればと思っています。

(委員)

募集は、2バンドぐらいですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

1バンド2~5名ということしか決めていなかったのですが、3バンド~5バンド、最大で12名~15名くらいのイメージを持っています。

(委員)

同じ場所で、5グループなら5グループ全部集まって演奏するのですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

最初、みんな集まって、どういうグループでやるか最初会って、2回3回で課題曲を決めて実際3回目で合わせてみます。すでに家族で応募が多い場合は第一回目から曲会議に入ってもらったり、参加者の方に合わせていきます。

(委員)

例えば全く素人が行って3回でもものになるのですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

例えば譜面読めない方でも打楽器とかできますし、歌もありますし、組み合わせで誰もが参加出来ます。子どもから大人までが、話題に出たブラジルのアーティストの方が経験値とか年齢、性別問わず音楽を作るっていうのを2回ほどやっております、その中で十分に音楽が出来るっていうのが経験値としてあります

(委員)

音楽を通じて男女共同参画とかいろんな気づきをして楽しんでいこうという主旨は分かりますが、なかなか全体像としてどのようになっていくのかっていうのが分かりづらくて、募集をしてグループや個人がそれぞれ自分の好きな音楽を練習する、奏でるってなるのですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

男女、年齢様々な方を混ぜる形でグループに分かれて、それで合奏していくイメージです。

(委員)

最後のオンライン講座で気づきとかを、みんなで受け取ってもらって音楽であっても男性にも女性にも平等な発表の場であったり、最後で気づきを与えるっていうことが大切になってくると思います。でオンライン講座は参加者と一般の方も広く募集するっていうことですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

そうですね。一般の方も参加出来ればいいかなと思います。

(委員)

人数とかオンラインの方は、制限はないのですか。

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

媒体によると思いますが、かなりの数は大丈夫と思います。

(委員)

オンラインの講師の方は1名で1回で、音楽講師の方が1名で4回ということですけど、この講師の方はどういう方を想定されてるのですか？

(阿部浩二ギターウクレレ教室)

自費で考えていまして、講師阿部浩二という設定で考えております。自費といいますかボランティア扱いということで書きましたが、ここには書かない方がいいのでしょうか？

(委員)

オンラインの講師の方は1名で1回で、音楽講師の方が1名で4回。音楽講師は阿部浩二さんで自己資金でして下さるということですね。

== (ローズウッド) ==

事業名：『わたしたちのワークライフバランスの充実に向けて』

まずは私たちの活動の説明をさせていただきます。2012年4月に設立し6人で活動しております。

主な活動は、高齢者向けの地域活動いきいきサロン、アロマスプレー作りバスボム作り。小学校でアロマ体験等。仕事と家庭を両立してワークライフバランスを取れるようにということをモットーに活動しています。

今回のオアシスの企画について説明させていただきます。前年と同様に①パパと家庭でできるイタリア料理に初挑戦②男性も女性も初めてのアロマヨガ体験この二つを企画しています。①ですが、現在は男性も女性も仕事してますので男女平等、家事の方もパパにもしていただくということでこちらの活動しております。今回6回目になります。最初はフランス料理の先生をお招きしましたが、今回はイタリア料理の女性の先生です。体験者の感想を聞くと、あれからパパも料理するようになったよ等の声も聞いてうれしく思っております。②ですが、ヨガといえば女性がするものというイメージがあると思いますが、そうではなく、今は男性も心と体のリフレッシュしていただくということでこちらの体験をさせていただいております。私たちはアロマの良さをもっとしていただきたいと思っておりヨガにアロマを加えてさせていただこうと思っております。あと男性の参加を増やしていただくということで新しい方たちも参加していただけるように思っております。オアシス事業について目標としていることを意識しながらアンケートしたものを参照していただきたいのですが、まずセンターの周知っていうところが大きく載ってまして7割近くが初めてという結果がでております。

また、この講座にあたってイクメンの推進ということを大きくとらえていますが、男性が8割参加して下さって今までと逆転しているパターンなのですが、お父さんと男の子等たくさん参加して下さいました。

①ですが、家に帰っても絶対するというふうに100%の方が声をあげて下さいました。あと若い世代の人をセンターに呼びたいというところから、30歳代が半分ぐらいを占めていますが、この講座で参加して下さいました。あと自分たちのスキルアップを目指しながらこのオアシスをしてるのですが、スマートフォンを利用して紙を無駄にしないとか、向上したなるところです。次に女性の活躍の場を広げたいってことで和泉市の方を紹介したいということもありまして、女性のイタリアのシェフオーナーの講座もありました。以上のことから私たちは自信を持ってやっています

(委員)

支出のところの質問ですが、その他の参加費、見本代っていうのが何なのか？①②の材料購入費の内訳？

(ローズウッドー)

①については、ランチ代のようなものでして実際材料買ったものを一人当たり1,200円で参加者25名で30,000円。②については、アロマのスプレータイプの容器を帰りに持って帰ってもらうので、材料費あわせて500円で参加者12名で6,000円です。

(委員)

イタリア料理1回、アロマヨガ1回ということですか？

(ローズウッドー)

はい。そうです。

(委員)

講師はイタリア料理の場合は 秋月さんですね。ローズウッドーのメンバーですか？

(ローズウッドー)

いえ、メンバーではないです。助手としてローズウッドーメンバーが係わるということです。

(委員)

助手は7名×2,000円ですか？

(ローズウッドー)

ヨガも含めて5名と2名ですね。メンバー6人いますが、5名とヨガの時に1名又は2名です。

(委員)

講師料で各25,000円ですよ。この基準っていうのは？男性のヨガの先生ってめずらしいと思いますが、その基準を教えてください。

(ローズウッドー)

男性のヨガの先生っていうのは、前回、好評で盛り上がりました。25,000円って高いのでしょうか？プロの方でやってもらって、交通費も込みで、私は逆に安いくらいだと思っています。

(委員)

男性の講師の方だと盛り上がるというのはどういう意味ですか？

(ローズウッドー)

もともとヨガは男性から始まったということを知ってもらいたいのです。ヨガは男性が始めたというところを語ってくれるとか分かってくれる理解させてくれるというところがとても惹かれたところなんです。男性で盛り上がったというのではなく、ヨガをやるときにはどうしても女性ってイメージで皆さん来られるのが、そこを覆したかったとか、女性でも男性でも出来るってところを出したかった。それがすごくおもしろかった。実際、男性であるということが意識なく受け入れられたということが良かったと思います。

(委員)

男性の講師を招いてやるなら、もっと男性にも声かけたらと思います。インストラクターの給料が安いのでどうしても女性しか就けない、それで家族を養えないということもあって女性の方が多いかと思います。男性に働きかけを今回どんなふうにされてるのか、教えていただけますか？

(ローズウッドー)

男性が入りやすいようならしとかポスターに力を入れて宣伝をし、男性が少しでも入りやすいように努力したいと思います。展望としては地域グループとか活動してもらえたらなというところもあります。

(委員)

ヨガをやる男性を増やしたいとするとどういう時間帯で教室をやるのか？

(ローズウッドー)

土日の午前とかになると効果は大きいと思います。あと夫婦で来られたりとか親子・ファミリーで来られたりとか、そういうのも狙えるので・・・、三世代・おばあちゃんと来られるとか、それもすごく良かったです。

(委員)

男の人連れてくればいいんですね。それとは別にイタリア料理を作るわけですね。イタリア料理にしたのは、何か特別な訳があるのですか？

(ローズウッドー)

これまで5回6回、フランス料理にしてたんですが、女性のオーナーとかを呼びたくて。次はイタリア料理にしようかと思いました。

(委員)

女性のシェフ・イタリア料理をやるということですね。

(ローズウッドー)

はい。そうです。

(委員)

予算のところで賃借料7,000円となっていて、調理実習室としか書いてありませんが合っていますか。

(ローズウッドー)

はい。そうです。

(委員)

ヨガのときは？

(ローズウッドー)

研修室で行います。

(委員)

保育料を取っていますが、去年の実績はどうなっていますか。保育を受けながらというのはありましたか？

(ローズウッドー)

はい、ありました。センター自体の保育の講師が少なくなってきているので、もう少し保育の方を増やして欲しいのですが、2名くらいが精一杯かなと思います。

==和泉ここあり== 事業名：『労協法で新しい働き方』

第一回、誰でもが、その人らしく活躍できる協働コミュニティづくり。第二回、こんな仕事があったらいいのに私でもできるんだ第三回、やれること、やりたいことを発見しよう基本的には担い手養成講座とか地域の方で困りごとを解決するいろんな活動をやっております。その中の一つとしまして、男女共同参画が社会的にも認められ皆さんと一緒に出来るようなことを考えようということで、実はモア21という団体がありました。活動が皆さんしんどいということで私たちが、そういうことを引き受けようということで労協法という新しい働き方というのを今回昨年に引き続いて考えてます。これは女性の方が、きびしい世の中で非正規とかパートとかいうことで自分たちの思うような仕事が出来ない、でも生活のためには仕方ないというところがあります。自分たちの仕事の意義とか、自分らしさというものを考えますとそこには自分の気持ちが入った仕事があればいいなと

女性の方でも、主婦で家事をやる、子育てするという中でもいろんなものをもっておられる、それを活かしていくことということを今まで考え方としてあんまりありませんでした。

私たちは、持つてる力を引き出そうということで今回考えております労協法で新しい働き方は、そういう共同労働をベースにしたところで、持つてる力を引き出していこうという考え方です。昨年までは映画を観ていただいたり、それに携わった方のお話を聞いたりしてたんですけど、今年は、誰でもがその人らしく活動出来る共同のコミュニティ作りをどうすればいいかということで摂南大学の北川先生に来ていただいて農業とかそういうところから自分がかかわれるところというところでお話をさせていただきます。

一方ではワーカーズコープというところから労協法についてお話していただくことになっております。この労協法は3人以上で届け出が出来るということで2020年の法律が出来ました。

法律が出来たらそこに新しい仕事が出来るということは皆さんご承知だと思うんですけど、今回それをやっていけばどうかと考えております。第二回はコーヒーの焙煎をやってるまめ福さん。これは海外の東・・・でコーヒー豆を作ってそれを輸入して焙煎することによって向こうにも還元できるというフェアトレードの精神を持ってやっているところです。そういう女性の方のお話とかコープ自然派の話だとかこういう具体的に活動してはる方の話も聞かしてもらおうかなと。

後はそういうことを聞いた後やれることは・・・自分はどうなんだということできとまちBANKという私いつも紙を作ってる私がやりたいこと、持つてる力を紙に書いてそれを出し合うということでそこがみなさんと共有される。そしたら私ここでこの力欲しいなと思っとなんたんですという形の、そっから新しい仕事が芽生えてくるというのが過去の例でもありましたので、今回もやってみたいと思っています。それをするによって労協法を知る、活動している団体のことが知れる自分の持つてる能力を再確認出来る、そういうところから何がしたいかが育っていったらいいのかというのが明確になる。こういうことを目指して大体9月の24日から3回コースでやりたいと思っています。場所的には いこいの家 英というのが万町というこの近辺に障がい者の方が建てていただいて中の運営を私どもが活動してるところがあります。そこで話をさせていただこうと思っています。

(委員)

講師は北川さんと田代さん、まめ福さんとコープ自然派の方、ワーカーズコープのコーディネーターさんですね。講師料は4名になってますが、これは講師料はないのですか？

(和泉ここあり)

3回目は講師料なしです。

(委員)

使用料・賃借料が いこいの家 英 となってるんですけど、これ芦田さんところですか？

(和泉ここあり)

いこいの家 英 はわたしですが、別の団体ということで、いつも使う時には払っています。

(委員)

支出のところで講師お食事代 800 円×4名ということですが、時間が午後1時30分からですが食事代はいり
ますか？

(和泉ここあり)

来て頂ける講師の方にはここでお食事を思っています。必要であればカットするとか、考えさせてもらいます。

(委員)

募集定員20名ということでズーム配信ありとなってるんですが、募集定員20名とした理由を教えてください。

(和泉ここあり)

この場所であればせいぜい20名ぐらいかなと思っております。建物60㎡くらいです。

(委員)

zoom 配信ありと書かれますが、どんなふうを考えておられるのか。教えていただけますか？

(和泉ここあり)

ここへ来れない人。一応向こうにはテレビ・プロジェクターがあり、そこへ映し出してやるということは、私たち他でもやっております。zoom でここへ来れない人も参加してもらおうかなと思っております。一般的なズームのURLをとってお渡しするということですね。

(委員)

zoom 参加の方は参加費はどうするんですか？

(和泉ここあり)

基本的にはズームの場合にはなしということですね。

(委員)

労協法と女性視点の関係性は？

(和泉ここあり)

労協法・労働者協同組合法は2020年に出来たんですが、自分たちがやりたいことを3名以上で自分もお金を出し自分も働いて自分も経営するというこの三拍子をひとつの団体でやれるということなんですね。ですから自分の持っているもの・仲間を3名以上集めると届け出だけで出来るということで非常にやりやすい。そこで

女性の力というのを日常的なところで必要なと。それは何故かという女性の方はパートとか非正規とかで働かれるんですけど、やはり自分の思いよりも仕事ということで結局、時間調整して勤められるんですけど、これは自分の思いができるんで自分らしさという男女共同参画のベースが出しやすいかなと。

(委員)

労協法は、そもそも営利の目的の事業をしてはいけないですよ。ところが今のお話だと女性にいろんな機会を与えようというところまでは分かりますが、この企画書には女性の労働力が必要だと書いてあります。労働力は必要だと。ここでは営利は目的じゃないと。では何をここでは実現しようとしているのでしょうか。

(和泉ここあり)

ボランティアではないので、非営利でも給料は皆さんもらっています。

(委員)

賃金が発生しますよね？

(和泉ここあり)

もちろん労働者ですから最低賃金以上は支払い義務があります。

(委員)

組合を作ると言うのはどう理解したらいいのでしょうか？自分たちも組合員になるのですか？

(和泉ここあり)

自分たちで組合を作って、自分が出資した後、働き手と経営者とひとつになる。ですから今までは雇われて従属的なところへ、はい、こうしなさい。ああしなさい。ところが今度は自分たちがやりたい。あつこのことは私やりたかったんだと。そこを自分たちがやっていくと。お金も自分たちの中で労働してもらえような仕組みを作って。そこを我々知ってもらうことが、いままでの従属的なことでないだけに、きちっとしてもらおうとやりやすい。全国で何百という団体がどんどんこれを機会に・・・こっちの法律を使ってやっついこうと増えていってます。今のタイミングで何故これが出来たのかなあと。やっぱり公のお金が足りないところを自分たちでやりたいことをやってもらう、公の網の抜けているところを補うという。そういうことが出来る。それが仕事としてやる。

(委員)

今までも非営利の団体がありますよね。それと違うところは縛りが緩いということですか？

(和泉ここあり)

そうです。例えばNPOだったら限られた配分できないとかでも継続的にやっついかなあかんから配分はいいですよとか。働き手としては守られた法律なので、むしろいつ首切られるか分からんような・・・頼まれごとの

仕事ではなくて自分でやる。私は一番この男女共同参画の勉強してこれが一番自分らがやっていくのにマッチしたなと思ったので一生懸命やってるというのが・そういう意味です。

(委員)

今回、改正があったのですか。

(和泉ここあり)

改正ということではないです。

(委員)

今回の女性が起業して、自分たちのしたいことを実現して行って、主旨がすごくいいかなと思ってお聞きしたのですが、昨年も和泉ここありさんが同じような形で実施されたと思います。事業報告を見ると1回目が10名、2回目が5名、次も5名ということですが、こんないい企画なのに参加者が少なくて申し訳ないなという気がします。今回も定員20名という形で募集されると思いますが、今回は集客に向けてどんな形で考えていますか？

(和泉ここあり)

いちばん最初のときに、コロナの時期だったので、参加者がなかなか集まりませんでした。実はこのタイトルだけで広報で6人くらい来てくれたんです。やっぱり新しい働き方というのがタイトルに来て。ですから私たちは新しい働き方をメインにしたところへもってきて今まではコロナであったんで出るのを控えてった方も含めてちらしをもう少し充実させて配ろうとは思ってます。あの少し動きが出てきたし、2年3年とこの労協法も出てきましたんで、むしろそういう新しい働きが必要だということを少しずつ世の中に広げていけるんじゃないだろうかと思っております。逆に市の方もしっかりとやって欲しいと・・・今あの仕事の方の部署がありますね。そこのところがこれを取り上げてくれてます。これは会社なんで違うかもしれませんが、キヤスクというのがありまして、ここは障がい者の人がからだ動かさない、そこへ服を着るために既成服を手直しする こういうのなんかは自分の子どものためにやってたのが今仕事になる。講座に来られた方が、それぐらいだったら私出来るわということで3人から4人くらいの方が、仲間組めへんという話が出ました。ちょっとしたことの手直しをやる・・・今まではボランティアでやってたことが、もうこれからは仕事になってゆく。

(委員)

次のいこいの家 英 の代表も芦田さんということで、さっき話が出たんですけど、使用料・賃借料でいこいの家 英 に3,000円×3日とあるんですけど、これはどうですか？

(和泉ここあり)

私の理解の中では団体が別という考え方。ここありというのは、ひとつの市民活動を形にし、ここでいう助け

合い担い手養成講座とかいろんなことをやって皆さんがちょっとでも・・・という団体の方と、いこいの家の英というのは建ててるものの中で、いこいの場所を作ってるということなんで。団体としては別だというふうに理解している。

(委員)

使用料がだから・・・この研修室とか使わずに・・・

(和泉ここあり)

そういう意味ね。

==いこいの家== 事業名：『男性の家事への参画支援事業』

白みそづくり（大豆刈り取りから作り上げる）25組（家族）を募集（父親・子ども参加）今まで健康講座とかいろんなことをやっております。モア21という団体が私が代表で7年間がんばっておったんですけど、ちょっとお休みをしました。この事業 男性の家事への参加 男性も育児とか家事に参加というのは、ずっと思ってたましてモア21の団体の時に畑を三林の方に福祉農園という形でやってます。そこで出来た大豆を白味噌にしようという事業を数年続けておったんです。それを無駄に出来ないなど。今まで35組とか40組ぐらいが参加してくれて、この上に調理室があるんですけどそこでやっとな時よりも、前はコロナで時間決めて1時間ずつ区切ってやったら、皆さんがやりやすいと。お父さんやお母さん、たくさん来られたんで、このやり方がいいなということで自分とこでやることにしました。畑仕事というのは男性の力が出せる、そこに子どもさんとか奥さんも一緒に係わるということで、今まで喜んでいただいております。普通、大豆を買ってきたらそのまま、ゆでてという、そういうことにならないように、大豆の刈り取りから干して、叩いて豆の選別から全部参加してもらってると。これが子どもたちも大人も喜んでもらってる。男性も比較的参加しやすいと。食育というところも私たちが話出来ますんで・・・今までやってきました。この団体そのものは今年の9月3日に出来て高齢であっても障がいがあってもということで地域の方と今やっています。

会組織が9月23日あったんですが、市長をはじめ、各社長、会長さんも含めてこういうことをやれる団体がスタートするということで非常に評価いただきました。英のフェスティバルやったりファミリーのeスポーツやったり桃大生とも一緒にやっております。そういうこと今までの経験でやってることをここに活かすことがいいのではないかと。内容につきましては、指導者によって出来の違いが結構あります。今までこの指導者の方はいいということで喜んでいただいております。それから参加費1,000円いただくんですけど材料費にほとんど使います。ですから自分の出したお金で自分のものは消化出来る。後は男女共同参画オアシスの方はそういうものと場所を提供するというを手助けしていただくという形で考えてます。ただあのここに賃借料のと

ころを0にしていますね。自分とこで企画して自分とこでお金いただくのは出来ないやろうと思ってます。金額的にもほとんどの使用はそういうことで・後、講師料。25組・・・。1時間に5組ずつ順番にということでやっております。

(委員)

白みそ作り指導料ということで20,000円となっていますが、講師の方はどういう方をお願いするのでしょうか？

(いこいの家)

毎年お願いしてる三林町にお住まいの白味噌など、いろんな活動されてる方をお願いしております。

(委員)

昨年は、父親はどのくらいの参加がありましたか。

(いこいの家)

家族数で25ありました。

(委員)

大豆作りから始めて、材料費のところは大豆800円×5回分ということですか？

(いこいの家)

はいそうです。

(委員)

大豆は作ってるんだけど、一応購入の形をとってるということですね。

(いこいの家)

福祉農園というところでやっていますので費用をそこへ全部支払う形になります。その畑で採れたものをということで5人分を800円でということに決めています。上も全部5人分です。

(委員)

福祉農園っていうのは、いこいの家 英 さんですか？

(いこいの家)

また別です。

(委員)

規約の中に福祉農園事業って書いてありますが？

(いこいの家)

福祉農園っていうのはまた別で三林の方に障がい者の人と一緒に自分たちのお金を出し合っている農園で

す。そこに費用は払うという形をとっています。

(委員)

昨年の報告を拝見しましたら参加率も100%。25組募集して25組になったのはすごいなと思います。男性、お父さんは結局4人で、後は保護者女性になっています。せっかくパパと一緒にと銘打っててもったいないなと。

(いこいの家)

ここに書いてるのは多分、実際に来てやった時だと思います。畑の方はもう少し男性が入ったりとか必ずしも一緒とは限りませんので。

(委員)

今年はらしなり宣伝の仕方です出来るだけお父さんに参加してもらうように工夫されたらどうかと思います。

(いこいの家)

男性でも女性でも家族として関わってくれることが男女共同参画になるかなと思っています。できれば、男性の家事支援というところへ視点を置いていきたいと思っています。

(委員)

どのようにピーアールするのですか？

(いこいの家)

事業は、広報、もしくは今までにライン登録されている方にも情報を流す予定です。

【委員審査】

(委員長)

(事務局への集計依頼)

(事務局)

(順位・結果発表)

(委員)

《非対象経費について指摘あり》

審査会において、審査の結果判明した対象外経費は認められません。

以下3団体

阿部浩二ギター・ウクレレ教室 報償費

ローズウッドー 報償費

和泉ここあり 講師食事代、会場使用料

(事務局)

対象経費は「和泉市男女共同参画推進事業（オアシス）助成金交付要綱」に記載しており、要綱に基づき対象外経費は、差し引いて決定します。

(審査会終了)